繪本おもろ草紙

73

朝比奈三郎
義秀

かんま
神間源内左衛
すけつぐ
資忠
ゆび
指の血をもりて
もり
盛の居小辞世の
のこす

ちゝけさ
父今朝うち
しぶ
死のこゝろざき
いちぢ
一筋に死をぎる
こゝろをふるぐ
せいてんじ
今ここそ正天寺の
せいとく
聖徳たなのほおう
ほうおん
報恩を遂て父よ
あの世の人とそ

せん
乃ち人
こうろう
功労の
まま
迷ふん
ほとけ
仏よ
ほとけ
仏よ

渡邊の綱
京へ小兒までもそろそろしべこふの粉も

源義経

大胆太夫成忠郷

ふぢ原の
任も智勇
のすぐれ
を称美して
たかう家
まで入
ぬ

ふぢ原
國妙の出羽の守
乃住人斗して
たゝひのごと
てこゝ小大敵
破る勝利を
ゆゞとゝのゝこと
ゝゝし九成月乃
軍ゝゝ
ゝゝ
ゝゝ
ゝゝ

平清盛（たいらのきよもり）
ひろはきろ
なぎかど（ひろはきろ）
新（あら）

厳島（いつくしま）
弁才天（べんざいてん）

秋山新義人光政

秋山が樫の木の
幹を大木まるる我
と八角なるの
あぶ
あまた矢つく阿保
矢力あそこそ
あひしが右
今見ざる
き戦ひも
ゆまで今
川東家
阿保肥前守
忠実

とぐろそんぐえもぐら
小栗判官無氏

なめつぼとみよ
悪馬を乗こなす

うえ沙汰
其名ぬし

てるての
照天姫

よこやまだいしょう
横山大将

寶引繩（ホウヒキノナハ）歸（モカリ）七小（ナヽコ）町（マチニ）

金毘羅名（コンヒラナルナハ）彫（ホリ）刑天王（テンワウニ）

薜蘿館主人題（ヘキラクカンシュジンダイ）

酒田（さゝた）

公時（きんとき）

さんも秋（さんもあきの）

あそぶ

の景

1790

畫者　東都　狩獵後園田大
北尾紅翠齋

剞劂　田千杢刀

寛政二歳庚戌春正月吉日

書林、江戸大傳馬町二丁目
大和田安兵衛藏板